

# 「スポーツの力」で「地域の活力」を創造！ 火の国サラマンダーズと連携協定を締結



3月17日、町とプロ野球独立リーグ「火の国サラマンダーズ」を運営するKPBProject株式会社は、スポーツを通じて、地域の発展や活力の創造に取り組むため、連携協定を締結しました。

KPBProject株式会社神田康範社長は、「町に野球のスクールやチーム、チアリーダーのジュニアチームを立ち上げたい。野球に限らず地域貢献活動も行っていきたい」と抱負を述べました。



左から神田社長、町長、馬原監督 子どもたちに色紙を渡す

火の国サラマンダーズの馬原孝浩監督は、「子どもたちにこういう選手になりたいと思われるようなチームを作っていきたい」と意気込みを語りました。町長は、「飲食店を巻き込んだ応援フェアを行うなど、町をあげて応援するので、町を広くPRし、町民と多くの交流の機会を設けてほしい」と期待を語りました。

協定締結の立会人として、町内の少年野球チームのキャプテン、副キャプテンが出席し、選手からサイン色紙を贈呈され、うれしそうに笑みを浮かべました。



子どもたちと笑顔で映る関係者一同

2月末までにマイナンバーカードを申請した人が対象



## マイナポイントの申込期間が9月末までに延長

☎ マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120(95)0178

マイナポイントを受け取るには、キャッシュレス決済サービスとマイナンバーカードを紐づける必要があります。ここではお手持ちのスマートフォンから申し込み方法をご紹介します。



詳しい申込方法はこちらから↑

### スマートフォンからの申込方法

- ①マイナポイントとマイナポータルアプリをダウンロード。
- ②マイナポイントアプリを起動。マイナンバーカードを読み取り、マイナポイントを申し込む。
- ③マイナポータルから「マイナンバーカードの健康保険証としての利用申し込み」と「公金受取口座の登録」を行う。

マイナポイントの申し込みとマイナンバーカードの健康保険証としての利用申し込みはマイナポイントアプリ、マイナポイント申込サイトから一括で行えます。公金受取口座の登録はマイナポータルアプリから行ってください。

**最大 20,000 円分の**  
**マイナポイントがもらえる！**

利用した決済サービスごとに  
最大 5,000円分
+ 健康保険証として  
7,500円分
+ 公金受取口座の登録完了で  
7,500円分

### 手続きに必要なもの

- マイナンバーカード
- マイナンバーカードの4桁の暗証番号
- ポイントを受け取る電子マネーやクレジットカードの決済IDとセキュリティコード
- 預金口座番号の分かる通帳など
- マイナポイント対応のスマートフォン、または、パソコンとICカードリーダー

### ポイントを受け取れるカードの例

ゆめか、WAON、nanaco、dカード、楽天カードなど  
その他ポイントが受け取れるサービスはこちらからご確認ください。



# 第1回多文化共生連絡会議を開催



令和5年度から実施します

## ① 外国人相談窓口の設置

- 英語と中国語で対応できるワンストップ窓口を設置
- 窓口にオンライン通訳端末を用意

## ② 外国人生活ガイドブックの配布

- 行政手続や地域の生活ルールを案内する英語、中国語繁体字、中国語簡体字の生活ガイドを作成
- 緊急時の通報や災害時の対応、公共施設の利用方法や公共交通機関の乗り方など、日常生活に必要な情報も掲載

## ③ 暮らしの日本語教室の実施

- 外国人を対象とする「暮らしの日本語」教室を町の主催講座で実施
- 秋には日本人を対象とする「やさしい日本語」教室も実施

町では、町内在住の外国人が500人を超え、今後もさらに増加していく見込みです。異なる文化や風習を持つさまざまな外国人が地域で協力し、安全・安心に暮らせるように、第1回多文化共生連絡会議を3月28日に開催しました。

会議には、警察署、消防本部、水道企業団、社会福祉協議会、郵便局と町から外国人の地域生活にかかわりの深い担当者が参加し、情報共有を図りました。

町では、令和5年度から、外国人相談窓口の設置、外国語生活ガイドブックの配布、暮らしの日本語教室の開講などを行っていく予定です。



## 台湾とさらなる交流を

# 社団法人台湾電子設備協会が表敬訪問



4月12日、社団法人台湾電子設備協会が菊陽町役場を表敬訪問されました。今回の表敬訪問は、1月に吉本町長らが台湾を訪問した際、林士青理事長と懇談したことをきっかけに、実現したものです。

吉本町長らは協会を出迎え、林理事長と笑顔で握手を交わしました。その後、町の概要説明などと記念品交換があり、協会から今後も「ご縁」があるようにと、茶器と「伍圓」硬貨などが贈呈されました。

台湾電子設備協会の林理事長は「今回の訪問で台湾と熊本の経済面の協力を深め、世界市場における最適



記念品を手にする吉本町長と林理事長(右)

な戦略的パートナーとなるよう町の支援を期待したい」と話しました。

吉本町長は「工場建設の支援と併せて、台湾からの赴任者の受入体制の整備や生活支援の制度構築に、全力で取り組んでいる。文化的交流にも積極的に取り組みたい」と伝えました。

この表敬訪問を機に、台湾とさらなる交流を深めていく予定です。



さらなる交流を願って訪問団の皆さんと記念撮影